



巻頭特集：遊ぶクルマ、クルマで遊ぶ。第2部クルマで遊ぶ篇

#7 カンナム・スパイダーを楽しむガダルカナル・タカ&橋本志穂夫妻

気持ち良くて安全!

斬新なデザインが魅力のトライク、カンナム・スパイダーを夫婦で楽しんでいるタレントのガダルカナル・タカさんと橋本志穂さん。クルマで出かけるよりずっと楽しいと話します。

文=荒井寿彦(本誌) 写真=茂呂幸正

上の写真を見て欲しい。未来的なデザインで目を引くトライクの前でポーズを取るのには、ガダルカナル・タカ(以下タカさん)&橋本志穂(以下志穂さん)ご夫妻である。前2輪、後ろ1輪のトライクは、カナダのメーカー、BRP(ボンバルディア・レクリエーション・プロダクツ)が手掛けたカンナム・スパイダーだ。志穂さんの横にあるのがご夫妻の愛車で、タカさんの後ろにあるのはカンナム・スパイダーの代理店、リリカが撮影のために貸し出してくれたものである。

それにしても、カンナム・スパイダーのデザインは独創的だ。まるでSF映画に出てくるような乗り物である。ふたりが撮影の準備をしているときも、通行人や施設の警備員などがカンナム・スパイダーに寄ってきて、質問攻めにされた。

誕生日プレゼント

カンナム・スパイダーをタカさんが購入したのは、2021年9月。志穂さんへの誕生日プレゼントだったという。

「その年の5月に愛犬が亡くなったんです。カミさんがすごく凹んで、少しでも気分が変わるものを見つけてあげたいと思ったんです」と、タカさんが言う。タカさんの発言に被さるように志穂さんが続けた。

「ホントは自分が欲しかったんじゃないですか? 大阪のレギュラー番組の収録を終えると、いつも羽田空港からクルマで帰ってくるんですけど、途中にカンナム・スパイダーの代理店があるんですよ。ずっと気になっていました」

オートバイやトライクに乗ったことがない志穂さんなので、クルマ通りの少ないところで何度も練習したという。

「これ6段セミATなんですけど、シフトアップは手元のスイッチで行い、シフトダウンは車速が落ちていくのに合わせて勝手にやるんです。そのときのシフトショックが怖かったみたいです」とタカさんが言う。志穂さんが再び返す。

「シフトアップのタイミングは音でわかるって言われたんですけど、最初は何言ってるんだろう? 意味わか



志穂さんは、ホイールカバーにデカールを貼ったり、ウィンカーに連動する照明を付けたりと、いまや自分の手でカスタムするほど、カンナム・スパイダーにハマっている。そんな志穂さんを見てるのが、タカさんは本当に嬉しいのだと思う。

「クルマだとなだの移動になっちゃうんです。でも、カンナム・スパイダーだと移動自体がアトラクションライダーたちとすれ違いざまに手を上げたりするのも、すごく楽しい。クルマだったらそんなことしないじゃないですか」

志穂さんはあまりクルマに興味がないのでおさらだ。「クルマだとなだの移動になっちゃうんです。でも、カンナム・スパイダーだと移動自体がアトラクションライダーたちとすれ違いざまに手を上げたりするのも、すごく楽しい。クルマだったらそんなことしないじゃないですか」

「私はカンナム・スパイダーに乗っている自分にシビレています。パットマンカーみたいなモノに乗っている自分ってすごくない？ みたいな(笑)。キャットウーマンみたいなウェアをネットで買ったたりして、カンナム・スパイダーをファッショントして楽しんでいます。ヘルメットもたくさん買いました」

「カンナム・スパイダーが来てから、夫婦で出かけることが多くなった。「タンデムで三浦半島へ行って、美味しいものを食べて帰ってくるかもちろん、クルマでも出来るんですけど、クルマだと休日に出かける気分になれなくてね」とタカさん。



カンナム・スパイダーF3-Sスペシャルシリーズの車両価格は343万9700円。普通自動車免許で運転することができる。登録に車庫証明は必要なく、法規上ヘルメットの装着義務はない。首都高速都心環状線もタンデムで走行可能。高速道路の最高速度規制は80km/h。左グリップにはリバース・スイッチを備える。



全長×全幅×全高=2642mm×1497mm×1099mm。1330cc気筒は115ps/7250rpm、130Nm/5000rpmを発生、6段セミATを介し後輪(1輪)を駆動する。ブラックボディの撮影車両はスパイダーF3リミテッドで402万1600円。問い合わせは近くのBRP正規代理店へ。

「秋だったので、曼珠沙華がバーツと咲いている田舎道があったり、稲穂が黄金色に輝いていたり。素敵な風景をバックにカンナム・スパイダーの写真を撮るの楽しかったです」

風を感じながら走り、その土地の香りや鳥のさえずりなどを直接体感することが楽しかったのだろう。以来、志穂さんは趣味のフルートを持っていて、カンナム・スパイダーで旅することが多くなった。

ファッショントして楽しむ

カンナム・スパイダーの魅力がタカさんに聞いた。

「オープンカーとオートバイの間というんでしょうかね。バイクのよ

「秋だったので、曼珠沙華がバーツと咲いている田舎道があったり、稲穂が黄金色に輝いていたり。素敵な風景をバックにカンナム・スパイダーの写真を撮るの楽しかったです」

「軽井沢に犬のために買った別荘があるんです。犬が亡くなってからはすっかり行かなくなりました。別荘仲間にはやはりカンナム・スパイダーを持っている方がいるので、これに乗って会いに行くことにしました」

一般道で軽井沢を目指した志穂さん。時間はかかったが楽しいことがたくさんあった。

「軽井沢に犬のために買った別荘があるんです。犬が亡くなってからはすっかり行かなくなりました。別荘仲間にはやはりカンナム・スパイダーを持っている方がいるので、これに乗って会いに行くことにしました」

「愛犬に対する気持ちの整理もカンナム・スパイダーのおかげで少しづつしたのかもしれない。運転の練習を2週間も続けると、志穂さんはひとりドライブに行きたいと思うようになった。」

「志穂さんが発言するときのタカさんの表情がいい。本当に奥さんのことが大好きというのが伝わってくる。終始笑顔で話す志穂さんも、タカさんの懐の深さに安心して感じている感じが、ひとり旅を楽しむ」